

# 2005

8月

## ちょうしんきん

# 景況レポート

Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	3	26	0
今後3か月程度の見通し	1	26	2

【漁業】

銚子港では、先月に続きイワシの水揚げ低調が続いている。総体の水揚げ量は前年同月比で821トン下回り、金額では6億9千万円の減少となった。水産加工業は水揚げの始まったサンマを除き、国内外とも原魚が高値で推移しており厳しい状況が続いている。

【農業】

銚子地区ではトウモロコシ、スイカ、メロンの出荷も一段落し、下旬にはキャベツの苗植えが始まった。

【商業】

消費者の財布の紐は固く、消費の低迷傾向に変化はない。

【建設業】

官公庁、民間とも受注は低調で、採算面でも相変わらず厳しい状況である。

【観光業】

各地とも、夏季シーズンとしては人出が前年を下回る傾向となった。観光関連業者からは愛知万博の影響を指摘する声が聞かれた。

<業種別天気図>

漁業	水産加工業	農業	商業	建設業
				
観光業	工業	不動産業	養豚業	自動車
				

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



## 2. 主要業種別動向

### A. 漁業・水産加工業

銚子港当月の総水揚数量は5,238トン。前年同月比 821トンとなった。水揚金額は633百万円で、前年同月比 692百万円となった。本年のサンマ初水揚は、8月22日。1kgあたり130円台となった。サンマの魚体は大型で形も良いが、価格は低迷傾向にある。

波崎港の総水揚数量は6,129トン。前年同月比 592トンとなった。水揚金額は733百万円。前年同月比 164百万円となった。イワシ・サバ・イカが主体の水揚げであった。

勝浦港の総水揚数量は283トン。前年同月比 +73トンとなった。水揚金額は123百万円。前年同月比 +18百万円となった。

水産加工業は、サンマを除く原魚相場が高騰しており、加工品の売上低迷が続いている。

### 銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

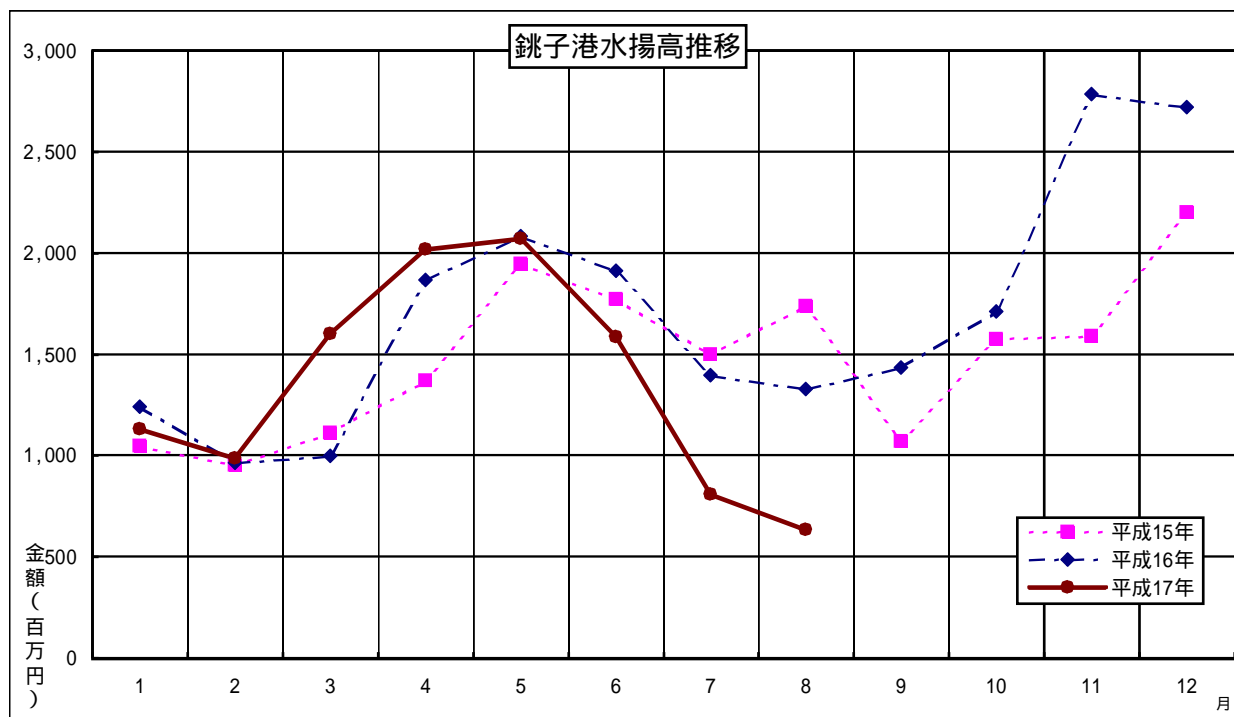
種類	区分	数量(トン)			金額(千円)		
		H17年8月	H16年8月	前年同月比	H17年8月	H16年8月	前年同月比
鰯		3,638	4,067	429	146,580	805,664	659,084
鯖		882	921	39	31,835	38,229	6,394
鰹		0	140	140	0	10,588	10,588
鰹・鯖		301	430	129	210,849	245,883	35,034
(内鰹一本釣)		41	0	41	4,997	0	4,997
秋刀魚		240	332	92	28,780	42,539	13,759
底曳		0	0	0	0	0	0
その他		177	169	8	215,176	182,750	32,426
合計		5,238	6,059	821	633,220	1,325,653	692,433

前月比	数量	53.69%
	金額	78.54%
前年同月比	数量	86.45%
	金額	47.77%

### 水揚日数



	H17年8月	H17年7月	前年同月
鰯	18日	19日	17日
鯖	3日	10日	2日
鰹	0日	12日	2日
鰹・鯖	17日	9日	8日
(内鰹一本釣)	1日	2日	8日
秋刀魚	3日	0日	1日
底曳	0日	0日	0日
その他	24日	22日	23日



## B. 農 業

銚子地区のスイカ、トウモロコシの出荷は8月中旬でほぼ終了となった。スイカの価格は、しまスイカ1箱2L×2玉で1,800円～2,000円程度、黒スイカは、2,500円～3,000円程度であった。トウモロコシ（「味来」）は、1箱5kg 2Lが13本入で1,000円前後の価格であった。8月下旬からは、キャベツの苗植えが始まり、出荷は10月中旬頃の見込みである。

波崎地区のピーマンは、8月に入り、出荷量は前年同月より2割ほど減少した。価格は上旬で1袋30円～35円、下旬で35円～40円で推移した。

海上地区、マッシュルーム栽培農家の出荷状況は、1パック(100g)90円～160円程度の価格で取引され、前月に比べやや上昇傾向となった。

八街市の落花生は、天候に恵まれ、本年は平成16年度の2,090トンを超す2,200トン程度の収穫が期待できる見通しである。

## C. 商 業

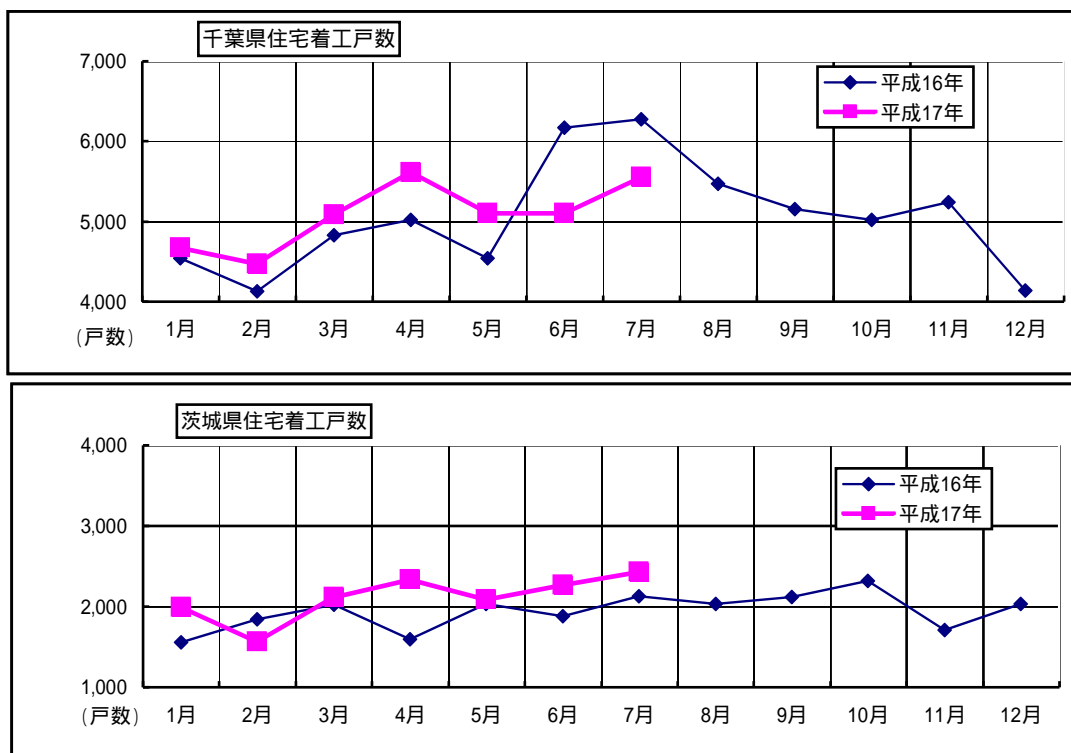
「必要なものしか買わない消費傾向に変わりはない。仕入単価が上昇傾向にあり、販売価格に追加せざるをえない状況であるが、（値上げに）踏み切れないでいる。」  
 「祭りなどがあった8月初旬はよかったが、その後は売上も止まってしまった。」(銚子・商店街、飲食店)といった声が寄せられている。

なお、平成17年11月末で十字屋銚子店の閉店が決定した。これにより、周辺商店街への影響が懸念されている。

情報アドバイス  
銚子商工会議所

## D. 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。



国土交通省統計情報より

建設工事全般では官公庁工事、民間の設備投資とも低調で相変わらず厳しい状況である。

## E. 観光業

銚子地区のホテル・旅館は、高校総体関連で一息ついたものの、夏季シーズンとしてはきわめて低調であった。愛知万博終了まで団体客のバスの入りこみが前年を下回る推移となる見通しである。また、台風の影響もあったが、海水浴客の入出は前年並みであった。

銚子のつり船はハナダイ、ヒラメ狙いで出航し、日によってムラはあったものの、相応の釣果はみられた。ただし、台風の影響で時化の日も多く、乗船率は低調であった。

なお、原油価格の高騰による経費増が懸念される状況である。

勝浦市内の海水浴場は、比較的好天に恵まれたものの、入出は前年より減少傾向であった。観光関連業者からは愛知万博の影響が出ているとの声が聞かれた。

情報アドバイス  
銚子商工会議所

## F. 工業

銚子地区の鉄工・機械部品製造業は、一部の業者で売上・採算とも改善が見られる。ただし、先行きの不透明感は払拭されない。

情報アドバイス  
銚子商工会議所

## G. 不動産業

### 銚子地区

千葉科学大学への通学の便の良い銚子駅周辺での学生向けアパートは、現在建築中のものが2棟、建築予定も数棟ある。地域によっては空室も出てきており、アパート建築の動きは落ち着きを見せている。

全体的に、一般物件の動きは少ない様子である。

## H. 養豚業

当月の豚枝肉相場は、平均500円/kgで、前月比 21円（前年同月比 26円）で推移した。

## I. 自動車ディラ

当月の千葉県内自動車販売状況は、11,533台で前年同月比2.7%の微減となった。

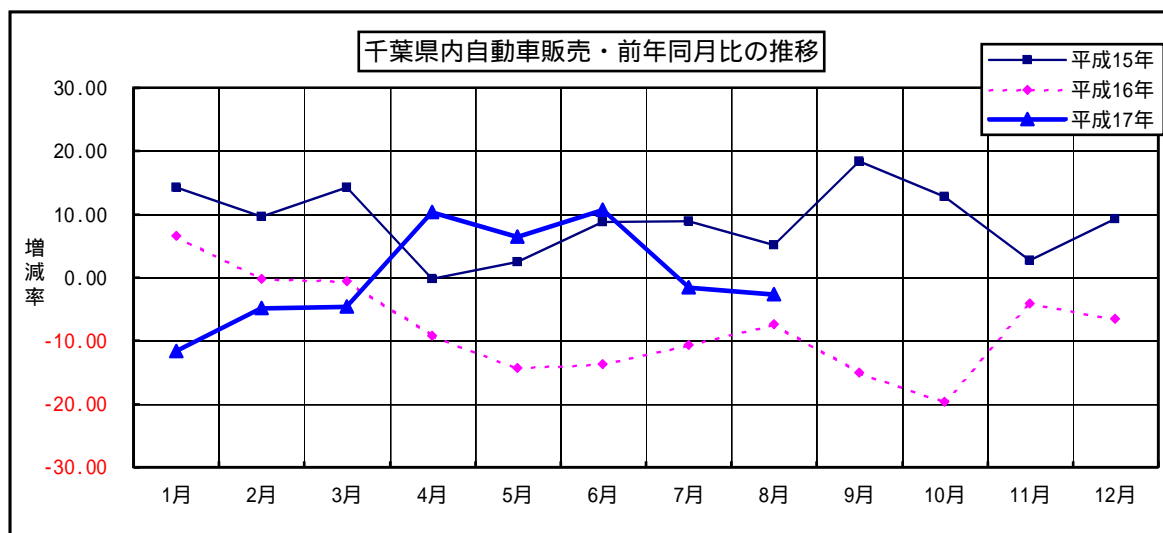
これにより県内の新車市場(登録台数)は2ヵ月連続で前年同月台数を下回った。なかでも乗用車が前年実績を大きく割り込んだが、今後はモーターショーの開催と前後して新型車が各メーカーより発表となり、年末に向けて上昇傾向に向かうとみられている。RV車市場は引き続き好調で、今後は緩やかな拡大が続くものとみられる。

情報アドバイス  
千葉トヨタ自動車(株)

千葉県内自動車販売状況（軽自動車を除く）

		当 月	前 月	前 月 比	前 年 同 月	前 年 比
乗 用	普 通	3,547	5,376	65.98%	4,211	84.23%
	小 型	5,870	8,637	67.96%	5,521	106.32%
	小 計	9,417	14,013	67.20%	9,732	96.76%
貨 物	普 通	667	608	109.70%	746	89.41%
	小 型	1,020	1,376	74.13%	1,037	98.36%
	小 計	1,687	1,984	85.03%	1,783	94.62%
特 殊 等	特 殊	345	348	99.14%	253	136.36%
	バ ス	84	60	140.00%	80	105.00%
	小 計	429	408	105.15%	333	128.83%
総 合 計		11,533	16,405	70.30%	11,848	97.34%

千葉県自動車販売店協会調べ



### 3. その他の動向

#### 求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.82	0.83	0.01	0.77	0.05
茂原公共職業安定所管内	0.55	0.56	0.01	0.45	0.10
大原公共職業安定所管内	0.49	0.47	0.02	0.56	0.07
成田公共職業安定所管内	0.68	0.67	0.01	0.52	0.16
佐原公共職業安定所管内	0.96	0.93	0.03	0.65	0.31
千葉県	0.83	0.86	0.03	0.64	0.19
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.84	0.81	0.03	0.63	0.21
茨城県	0.88	0.87	0.01	0.77	0.11

ハローワーク銚子/茂原/大原/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

#### 電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力銚子営業所管内総電力使用量	130,829	136,189	5,360
〃 (うち 動力使用量)	95,738	101,085	5,347

東京電力(株)成田支社調べ

#### 倒産

当月における負債総額1,000万円以上の千葉県内企業倒産件数は22件。前月比 9件、前年同月比 18件。負債総額は121億円となった。

負債総額10億円超の大型倒産 3件

千葉市の不動産業「幸福建設(株)」(負債総額約57億円)

習志野市の建築・土木、舗装工事「白井建設(株)」(負債総額約30億円)

市原市の建築・土木工事業「(株)鈴栄組」(負債総額約11億円)

業種別では22件のうち「建設業」が7件、次いで「製造業」が4件となっている。

負債額では「不動産業」が57億円、「建設業」が46億円であった。

原因別では不況型倒産の典型である「業績不振」によるものが16件、次いで「既往のシワ寄せ」によるものが4件であった。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)



本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合

銚子商工会議所

株式会社 東京商工リサーチ

国土交通省 統計情報

千葉県自動車販売店協会

千葉トヨタ自動車 株式会社

ハローワーク銚子

ハローワーク茂原

ハローワーク大原

ハローワーク成田

ハローワーク佐原

ハローワーク常陸鹿嶋

東京電力 株式会社 成田支社

(順不同)

その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫

編集；営業推進部

住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5

電話；0479-25-2121

F A X；0479-24-4591

E-mail；eisui@choshi-shinkin.co.jp

U R L；<http://www.choshi-shinkin.co.jp>